



令和6年度 車座集会 意見交換内容

日時	令和6年7月22日(月)14時から
場所	広田地区コミュニティセンター 講堂
テーマ	まちづくりについて
出席者	地域参加者12名、市長ほか関係者2名 合計14名

佐世保市 市民生活部
コミュニティ・協働推進課

令和6年度広田地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくりについて

地域参加者

- このまちを、孫に良いふるさとと思ってもらえるような場所にしたい。そうすれば遠くに行っても帰ってきてくれるのではないかと思う。
取り組みの第一弾として、自分の地区で「ご近所声かけネットワーク」という企画を立てている。地区の人たち5,6軒の輪を作り、輪の人たちで仲良くして災害や緊急時には助け合いましょうという、隣組のようなものにしていきたいと思っている。
第二弾としては、広田地区の良いところやおもしろいところを紹介して、体験してもらうことを考えている。自治協議会のスポーツ大会等にも参加させて、この地区のいろんなことを知ってもらえたらと思う。
いくら故郷が良くても働く場所がないと困るので、市には孫が働けるような会社の誘致や、現在ある会社の活性化への尽力をお願いしたい。
- 市内の育成会でいろいろな活動・行事を通して子育て支援等をしている。文教区である広田地区は教育面で非常に環境が整っている地区ではないかと思う。地域の行事・活動を通して家庭・学校・地域がひとつになって子どもと一緒に育てようという思いで日ごろから活動させていただいている。
- 「高齢者にも優しい、老後がおくれる安心・安全なまち広田」ということをテーマとしている。広田地区でも高齢化が進んでいる。高齢者の足になるようなコミュニティバスが必要だと思う。地区の中心にイオンタウンがあるので何か一緒に企画していただいて、高齢者でもイオンタウンに行って買い物等ができるまちになってほしい。バスが通ればコミュニティセンターにも来ることができる。



令和6年度広田地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくりについて

市長

- 働く場所については、今回総合計画を見直して後期基本計画の中で子育て・地域資源・文化・産業の4つを柱としたシティブランディングプロジェクトというものを作った。

子育ては、「子育てが大変充実していて教育もしっかり受けられる」と若い人達に思っていただけるまちにすること。

文化は、住む人たちに芸術や文化スポーツを十分に楽しめるまちだと思っていただけるまちにすること。

地域資源についてはハウステンボス等の観光地やおいしい食べ物を生かしてこの地域の活性化、観光にもつなげていきたいと思うし、外から人を呼び込めるような地域資源というものを作って生かしていきたい。

産業は、若い皆さん方に住んでもらうために必要な仕事をしっかりと作っていくということ。

就任以来企業誘致を図っているが、それに加えいろいろな産業というものを作って伸ばしていかなければならない。佐世保の場合は観光と基地産業だと思う。佐世保は基地の町なので、この効果を十分に生かして活性化につなげていきたいと考えている。

こうしたものを作っていくと当然人材がとられるので、地場産業の空洞化が進んでしまう。この空洞化というものをどうするのが非常に重要である。現在DXという1つの大きな転換期であるので、そういうものを市の方から応援させていただいて、各企業も職場環境の改善というものを図っていただいている。雇用というのは非常に大事な話なので、これから魅力のある職場環境と雇用を目指して頑張っていきたいと思う。



2024.7.22 広田地区

令和6年度広田地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくりについて

市長

- 公共の足で今一番深刻なのは運転士不足だと思っている。防衛補助をいただいて、例えば交通事業者における要員確保として、有事の際には有事避難の支援を役まわりとして行い、平時は普通の運転士として利用をしていくという形で運転士を確保できないかということ、先日財務省と防衛省に陳情した。財務省の主計官からも非常に良い反応であったが、いろいろな形を使って運転士さんの処遇を上げていくことが必要かと思う。
- 1つの案として、各幼稚園や保育園でスクールバスをお持ちのところや介護施設で日中送迎の運転をされない方に、コミュニティバスなどを走らせていただけないかと思っている。
- 今佐世保市内では地域の中でいろいろなコミュニティバスやまめバス、デマンドタクシーをスタートさせていただいている。運営するためには地域の皆様方と一体にならないとできないので、事業者や或いは地域の皆様方としっかりと連携をしながら取り組んでいくことをお誓い申し上げたい。



2024.7.22 広田地区

令和6年度広田地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくりについて

地域参加者

- 少子高齢化、自治会への未加入を一番危惧している。自治会を辞めていく方もいるし、入会されない方もいる。
今年度から自治会の方で出産祝い金という会則を変えた。若い人たちが子どもたちを生んで育てていくために幾ばくかの応援ができないかというのが趣旨。第一号のお子さんが生まれた家庭へお祝いを持って行き、“子育ては大変だろうが、悩みの解決はできないかもしれないけれども応援することはできる”という趣旨を言ってきた。
- 中学3年生の給食無償化はありがたい。予算の都合もあって難しいとは思いますが、経済的に厳しい家庭もあると思うので、子ども達全体に格差が生じないように、3年生だけではなく1,2年生もできる限り早く支援してもらえればと思う。
- 市長に昨年東京で販売促進をしてもらった。そういうことをしていただけると生産者として励みになる。農産物に限らないが、今後とも継続をお願いしたい。
- 毎年どこかしらの地籍調査を行っていると思うが、旧市内ができていないという話も聞く。広田には多くの農地が残っているが、高齢化と担い手不足で耕作放棄地が年々目につくようになった。今使っている字図は明治時代のもので、現状と合わず不便さを感じている。その辺を考慮して、広田地区の地籍調査を早めにしてほしい。



令和6年度広田地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくりについて

地域参加者

- 50年前と今で子どもの要素は変わっていないが、大人・周りの環境が変わっている。大事なのは幼児教育をどういう風にもっていくか。1～6歳までに子ども達の人間性が決まるという論文も出されている。今は母親が仕事をしていることが多いため、家庭教育が少し疎かになっている気がする。親の指導がなく、善悪の判断を子ども自身がしてしまい、学校入学後は不都合なことの理由を学校にすべて押し付けるというような流れが見えている。国づくりとは教育である。教育をもう一度考え直した方がいいと思う。
- 小学校で二学期制をとったことはマイナス面が大きかったと思う。小学校低学年の子ども達が年齢にそぐわない言動をしたり、勉強以外の話をする事が多く、こういうことがあっていいのかとすごく不安に思っている。母親も仕事を一生懸命されているのはわかるが、もっと家庭の方・子ども達に目を向けてほしい。
広田の幼稚園では保護者会をなくした。保護者会やPTA会は夜に会合がある。夜家に小さい子どもを置いて母親がいない、という環境がいちばんよくない。教育に関して、仕事と子育てを両立させるためにはどうしたらいいかということをもう少し考えていかれるといいのではないかと思う。



令和6年度広田地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくりについて

地域参加者

- 6,7年程前まで約20年間、地域の小中学生を受け入れ、農家の仕事の在り様から加工品の説明などを通して地域の仕事・地域で仕事をする人たちが何をしているかを理解してもらう取り組みをおこなっていた。その後子どもたちが来なくなり、できなくなった。コロナ後も学校の管理者や先生方が、社会や地域の事業者と子ども達・学生達との接点をどう作っていいかわからないと言う。責任者も現場の教師も方法がわからないとなると、何もしないということになりかねない。
”地域に住まう人たちが実感するまちの商人(あきないびと)、子ども達を感じる地域の仕事と人”を進めていきたいと考えている。ぜひ地域教育、ふるさと教育(地域の大人がこういうことを一生懸命やっているということ)を、地域の事業者が受け入れる、見せる、体験させるというのをどんどんやったほうが良い。子どもの受け入れが難しい事業者もあるが、受け入れる用意があっても学校が子どもを送り込まなくなった。

- 40年前から佐世保は長崎空港に置かれるような商品開発ができていない。数十年なかった佐世保土産の新商品を短年度でつくるのは難しいが、3年かけて30年かけて売れば良い。そういう提案をしたい。



2024.7.22 広田地区



令和6年度広田地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくりについて

地域参加者

- 新商品の企画や物を作る・売るというところに地域の子ども達を関連付けたい。佐世保の中で佐世保の素材、佐世保で作っている物を、どういった加工によってどういった商品化をして誰がそれを喜ぶのかというのを、地域のどの世代の子ども達にも関連付ける、できれば義務付けるようなことができれば。ただ物を作って売るのではなく、地域の人に理解してもらうようなことがモデルとしてできないかというのを提案したい。1年前商工の方に提案したが、良い返事は貰っていない。今の提案は教育の方に絡んでくるので更に難しいかもしれないが、ぜひ地域で教育していくという時に、事業者として何ができるかという一つの提案として受け止めてもらえれば。
- マックスバリュ早岐店で、広田地区で活動されている非営利団体を誘致して「つながろうDay」というイベントを行っている。働く人が地域住民と楽しみながら日常的な繋がりを作りたい、また地域の人たちが生活をより豊かにするため活動を店舗で展開できる状況を作りたいという思いで発足した。イオン九州の長崎事業部では唯一のモデル店舗である。今後も地域住民との繋がりを提供する場として開催するので、ご近所さんに好きなこと・得意なこと、お裾分けしたい趣味や催し物があれば、お気軽にマックスバリュ早岐店までお問合せいただけたらと思う。



令和6年度広田地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくりについて

地域参加者

- 広田地区は子どもが多いといっても全体的には減ってきている。子ども達の活動の場がやはり地域にない。子ども達が減っていることで、学校の部活動が成り立たない学校が増えてきている。学校2校共同で出たりするのを認められる時代にはなってきているが、どうしても文科省が決めるスポーツのあり方で時間の制限がかかっている。先生の働き方改革もある。部活を外に出そうといったときに誰が受けしてくれるのか。指導者がいればいいが、今度は指導する場がない。県が貸してくれない場合もあるので、地域でそういう整備をしていただいたり、部活動以外の活用もできるようなこともしていただければと思う。
- パートナーシップの形成や情報共有、支援ということでプロジェクトをやろうというのを一生懸命されているところもあるが、外からだけだと難しく、組織的にやろうとしても難しい。みんなでやらないと持続も無理というところがあるので、そういった場所づくりや支援をしようとする人達のモチベーションを上げるような広報活動・公共イメージを上げるような活動をしていただき、その方々の承認欲求を上げて、持続可能な活発化につながっていけばと思う。スポーツだけでなく、企業とのコラボレーション等、学びの場として地域が使えるようになればと思う。



令和6年度広田地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくりについて

地域参加者

- 県外に出る子どもがほとんど。地域文化だったり風習だったり「地元よかったよね。」と思ってもらって、まっすぐ帰ってきてもらう、またはしばらくして都心の良い情報・技術を持って帰ってきてもらって後々の地域の中核になっていただく。郷土を愛してもらえれば、それこそ本当のリーダーになってもらえるということで、リーダー育成のためにはそういった交流の場所になる支援と、支援をしている団体への支援をしていただければと思っている。
- 更生保護の会員の高齢化が進み、地域の中で最多の広田支部の会員も人数が減ってきている。人数が減ると活動にも支障をきたすため、更生保護女性会の知名度を上げたいと思っている。更生保護が何かを理解されていない方も多く、佐世保少年院が閉鎖になって説明が難しくなった。来年度に更生保護ができて75周年のイベントを佐世保で行う予定。そういう大きなイベントがある場合は広報に載せて宣伝していただけると助かる。
- 安心安全なまちづくりには防犯カメラの設置が必要だと思う。子どもの安全対策や事件事故の防止・早期解決のために少しずつ増やしていく必要があるのではないか。
- 東部の方に人が集える文化施設が何もない。広田には小学校から大学まであるので図書館でもあればみんなが利用できると思うし、イベントホールができればみんな見に来ると思う。早岐・宮・江上の3つをあわせると約4万5000人いるのである程度人は集まる。人を集め、密着させる、住よいまちをつくるためにも文化施設が必要だと思う。佐世保刑務所跡地を佐世保で有効利用ができるということであれば、広さもあるので、みんなが集まるような文化施設を考えてほしい。残っている拘置支所がなくなれば、なんとか全面的に開放施設ができるのではないかと思う。



令和6年度広田地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくりについて

市長

- 高校受験を前に教育費がかかる中学校3年生のご家族の経済負担を少なくしたいという思いで、今回の給食費無償化は中3に限らせていただいた。
私の公約は中学校給食の無償化なので、できるだけ1日も早くできるように担当の方には指示をしている。1日も早い実現を目指していきたい。
- 地域教育、ふるさと教育の充実というものは重要だと思っている。学力と同様に、社会の中に出てどうやって生きていくのかというのが重要な課題だと思う。
ふるさと教育、地域教育も含めて、地域又は経済とともに子どもが育っていくという視点も重要だと思うので、参考にしながら進めていきたい。
- 農業委員会のご要望も踏まえて、これから地籍調査の件に鋭意取り組んでいきたいと考えている。
- 時代の変容があって多様化し、教育の問題というのは本当に難しい問題だと思う反面、教育の柱はずっと変わらないのではないかというふうにも思っている。
子育て支援等と教育の充実は政策の最重要課題であるため、教育の充実に向けて頑張っていきたいと思っているので、ぜひ倍旧のご指導をよろしくお願いを申し上げたい。
- 佐世保生まれの産物については内部でも話をしている、農林水産部や経済部(旧観光商工部)で佐世保の次なるブランドをどうやって作るかというような話をしている。
ただ、行政主導ではなかなかいいものはできないと思う。民間の皆さん方にやってもらわないといいアイデアも出ないし、一番大事な「売れ筋」といった意味からも、次のブランドや新商品というものを開発して佐世保ならではのものを作っていくのは、行政の仕事ではないと思っている。
その中で行政が支援をできるのであればやっていかなければならないと思うので、ご提案を持ち帰ってしっかりとまた検討させていただきたいと思う。

令和6年度広田地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくりについて

市長

- 「つながろうDay」という地域を巻き込んで地域密着型の活動をしていただいていることに心から感謝を申し上げます。ぜひこれからもこの活動を続けていただきたいと思います。
- 子どもの活躍の場である部活は非常に重要だが、今数が少ない。部活の外部委託が始まっており、地域によってはモデル的に外部での活動が始まっている。佐世保市でも他地域の状況を見ながら研究をしているところである。
- UJIターンのM Caféというものを先日やったばかりで、本当にいろいろなきっかけで佐世保に来られる。その中で、佐世保が良いということは参加者皆さんがおっしゃったので、佐世保の特色を活かすことが重要ではないかと思う。
- 更生保護の活動で大変ご苦労いただいていることに心から感謝を申し上げたい。
- 更生保護の活動は巷ではわからない部分というのも依然あるかと思うので、我々も本当にしっかりと広報や周知活動というものを図っていききたい。
イベント等があれば、広報させぼのみならずHPや各SNSや私のSNSなども使わせていただいで、ぜひ周知を図っていききたいと思う。



2024.7.22 広田地区

令和6年度広田地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくりについて

市長

- 安全安心のまちづくり、これが重要である。東部地区においてはIRが昨年の末に不認定という結果が出たが、その際に依存症や治安対策等の東部自治連を中心として協議していただいた重要なものについては、何らかの形で私どもは引き継いでいかなければならないと思っている。
- 国の方でも防犯カメラによる治安整備というものは行われていくのではないかと思う。プライバシーの問題等の様々な課題はあるだろうが、国或いは県も含めて、防犯カメラの設置など、これからの安全安心のまちづくりの検討を進めていきたい。
- 一昨年、佐世保スポーツ推進計画を策定し、今年からスポーツ施設の再編計画を作ろうとしている。相浦にある総合グラウンドを中心として老朽化した施設が多くあるため、佐世保市全体のこれからのスポーツ施設をどのように再編をしていくかということに着手をしたところである。この東部スポーツ広場もその対象となるが、全体を俯瞰してみたときにどのような形で市民の皆様方にスポーツを楽しんでいただけるのかを、子ども、競技者の皆様方や地域の皆様方との意見交換をしながら進めていきたいと思っている。
- 現在のところ刑務所跡地の利用については全く決まっていない。この跡地をどのようにするか、どうしたら地域の皆様方や市全体のために貢献する場所になるのかということこれからしっかりと検討していきたいと思っている。そうした動きがあるときには、まず広田地区の皆様方にもご相談をしながら、計画を作らせていただきたいと思う。



令和6年度広田地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:まちづくりについて

市長

- 4月から若者活躍・未来づくり課という新しい課を新設し、その中で中高生の皆さん方に市役所の13階のラウンジに集まっていただいて、みんなのいろいろな計画をお話ししていただいている。中高生が活発にそのような活動をやってくれていて、ようやくそうした課を作って新しい若者交流のプラットフォームというものができた。従ってそういうものをぜひ活用していただきながら、そういうイベントにいろいろな参加させてもらえれば、またより具体的な活動が広がっていくのではないかと思うので、ぜひ連携をとらせていただきたい。



2024.7.22 広田地区